	+	成	23	年	度	事務	事業	評価シ	<b>-</b> ト(	平成 22	年	度実施	施事:	業)	虫	整理番号	保保05	
	車彩	务事業	<b>学</b> 夕	納期前納付報奨金事業							会計							
		カザッ	*1							予算	款		1 総務費					
総合	6	ちづ		2	健康*	で生きた	‡きと募	享らせるやさしいまち			科	項		數収費				
基			(章)						,			目		内入奨质				
本計		策(領				<ul> <li>医療</li> </ul>						事業	1 糸	內入奨质	費			
画			方向	(5) 医療保険制度の充実							作	作成部署 保健福祉部保険健康室保険年金課						
			十画等 =#: <i>*</i> :								\ <u>=</u>	<b></b>	070	050	050 1111 <b>rh</b> 4 <b>h</b> 1750			
事業	<b>対象(誰を・何を)</b> 国民健康保険料納付											<b>連絡先</b> 072 - 958 - 1111 <b>内</b> 線 1750						
の		国に健康体験科が10 意図(どういう状態にしたいのか)																
目的		は図(とういう状態にしたいのか) 内付の確保																
-	/11 3		寸の確保 民健康保険仮算定、本算定時の納期前納付の報奨金交付事業															
事		2000	E感体映似异化、半异化时以附别削附的以散哭筮父的事素															
業の																		
内																		
容																		
	根拟	见法令	令等	羽曳野市国民健康保険条例、羽曳野市国民健康保険条例施行規則														
Ħ	丰業	開始	時期	□ 昭和										年度				
<b>由</b>	<del>业</del> 日日	1 + L n±	. <del></del>	Ш	平成			市制剂	∄行(□	昭和34年)	以前し	り行っ	てい	<u>る</u>				
		始時 !変化																
市	民や	議会	の要															
望	r:-	ナーナ	<b>,</b> ±									<b>↓</b> - 1.1	n.	<u> </u>		5 /rk /	\	
	美	施手	法	<b>✓</b>	直営	四人禾司		\$P		全部委託		補助金	・助	<b>灭</b> 金	\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	の他(	)	
	켷	<b>美託</b> 统	ŧ	□ 市外郭団体委託 名称 ( ) □ 民間委託 □ その他						委	託内容							
												_						
				分				91年日	<b>∓</b>	99年 産		つつ 左 南	=					
			区			分		21年月 (実績		22年度 (実績)	(	23年度 見込み		1 200		活動単位当力	こりコスト	
事	業費	走【1	-			分	(千円)	(実績		22年度 (実績) 8,69	_	23年度 見込み 9,(	r)	1,380		活動単位当/	こりコスト	
		专【2	]			分	(千円)	(実績 9, 3,	)	(実績) 8,69 3,60	2	<b>見込み</b> 9, ( 3, (	000	1,360		活動単位当力	こりコスト	
	件書	<b>責【2</b> 正規	】 】 見職員			分		(実績 9, 3, 0.50	203 750 人	(実績) 8,69 3,60 0.50	2 0	<b>見込み</b> 9, 0 3, 6 0. 50	000	1,360 1,340	•	活動単位当力	<b>こりコスト</b>	
	件費職	正为再任	】 】 見職員 壬用職	員		分		(実績 9, 3, 0.50 0.00	) 203 750 人 人	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00	2 0 	<b>見込み</b> 9, ( 3, 6 0. 50 0. 00	b) 000 600 人 人	1,360 1,340 1,320	•	活動単位当力	±9⊐⊼ト	
	件書	正規再信	】 見職員 壬用職 壬職員	員		分		(実績 9, 3, 0.50 0.00	203 750 人	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00	2 0 	<b>見込み</b> 9, ( 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00	b) 000 600 人	1,360 1,340	_	活動単位当力	ミリコスト	
	件職員数	正規再信 嘱託	】 見職員 任用職 任職員 持職員			分	(千円)	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00	) 203 750 人 人 人	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00	2 0 \ \ \	<b>見込み</b> 9, ( 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00	b) 000 600 人 人 人	1,360 1,340 1,320	_	活動単位当力	こりコスト	
人	件 職員数 超	大 正再属 臨 動	】 見職員 壬用職 壬職員	考)	[2]			(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00	) 203 750 人 人 人	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00	2 0 し し し し 間	9, ( 3, 6 0, 50 0, 00 0, 00 0, 00 0, 00	b) 000 600 人 人 人	1,360 1,340 1,320 1,300				
人	件 職員数 超事	大 正再属 臨 動	】 現職員 田職員 日職員 務(参	考)	[2] )	分 ————————————————————————————————————	(千円)	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00	) 203 750 人 人 人	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00	2 0 し し し し 間	<b>見込み</b> 9, ( 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00	b) 000 600 人 人 人	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280	21	活動単位当力	23(見込み)	
人	件 職員数 超事 財	妻【2 正再嘱臨過費国府 實	】 見職員 能職員 養務(人工)	考)	[2])		(年円)	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00	) 203 750 人 人 人	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00	2 0 し し し し 間	9, ( 3, 6 0, 50 0, 00 0, 00 0, 00 0, 00	b) 000 600 人 人 人	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280				
人	件 職員数 超 事 財源	達 【2 正再嘱臨過費 国府市	】 見職員無任職員 時職員員参 (【1】	考)	[2] )		(時間) (千円) (千円)	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00	) 203 750 人 人 人	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00	2 0 し し し し 間	9, ( 3, 6 0, 50 0, 00 0, 00 0, 00 0, 00	b) 000 600 人 人 人	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280			23(見込み)	
人	件 職員数 超事 財	と	】 見職用職職員員参 (【1】	考) +			(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12,	203 750 人 人 人 身間 953	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29	2 0 人 人 人 見 間 2	9, 0 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00 0. 00 12, 6	500 人 人 人 時間 500	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260		22	23(見込み)	
<b></b> 総	件 職員数 超事 財源内訳	ま 【2 正再嘱臨過費国府市そー	】 見職職員 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種	考) 十 (手数	対料・使	<b>【A】</b> <b>E</b> 用料等)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12,	203 750 人 人 人 身間 953	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29	2 0 人 人 人 し 間 2	9, 0 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00 0. 00 12, 6	500 人 人 人 時間 500	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260		22	23(見込み)	
<b></b> 総	件 職員数 超 事 財源内訳 動	<b>せている とこれ (22) ままり は 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 </b>	】 見職用職職( 世妻 し し し し し し し し し し し し し し し し し し	考) + (手数 D活動	対料・使	<b>【A】</b> <b>E</b> 用料等)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12,	203 750 人 人 人 時間 953	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29 12,29	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9, ( 3, 6 0, 50 0, 00 0, 00 0, 00 12, 6 年度(見述	b) 000 600 人 人 人 時間 600 234)	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260		22	23(見込み)	
<b></b>	件 職員数 超事 財源内訳 動納	<b>せている とこれ (22) ままり は 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 </b>	】 見職職員 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種	考) + (手数 D活動	対料・使	<b>【A】</b> <b>E</b> 用料等)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12,	203 750 人 人 人 身間 953	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9, 0 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00 0. 00 12, 6	b) 000 600 人 人 人 時間 600 234)	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260		22	23(見込み)	
<u>活</u> ①②	件 職員数 超 財源内訳 財納	<b>せている とこれ (22) ままり は 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 </b>	】 見職用職職( 世妻 し し し し し し し し し し し し し し し し し し	考) + (手数 D活動	対料・使	<b>【A】</b> <b>E</b> 用料等)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12,	203 750 人 人 人 時間 953	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29 12,29	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9, ( 3, 6 0, 50 0, 00 0, 00 0, 00 12, 6 年度(見述	b) 000 600 人 人 人 時間 600 234)	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260		22	23(見込み)	
<del>活</del> ①②③	件 職員数 超 事 財源内訳 財納	<b>費 【2</b> 2 正再嘱臨 <u>過</u> 費国府市そ一 青期 養育債の船(前)	】 見職用職職( 世妻) し財業( 世) の財業( 世)	考) + (手数 ) <del> </del>             	<sup>対料・使</sup> <b>効実績</b>	<b>【A】</b> <b>E</b> 用料等)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12,	203 750 人 人 人 時間 953 953	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29 12,29 22年度 9,49	2 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9, ( 3, 6 0, 50 0, 00 0, 00 0, 00 12, 6 年度(見述	A) 000 600 人 人 時間 600 24) 630	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260  30 25 20 15 10 5		22	23(見込み)	
人   活①②③	件 職員数 超事 財源内訳 財納 単	<b>費 【22</b> 正再嘱臨過費 国府市そー 長期 位 位 位 は 位 の の の の の の の の の の の の の	】 見職用職職( 世妻) し財業( 世) の財業( 世)	考) + (手数 ) スト	対料・使 効実績 (【A】	【A】 <b>[</b> 用料等)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12, 12, 21年度 9,	203 750 人 人 人 時間 953 953 524	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29 22年度 9,49	2 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9, 6 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00 0. 00 12, 6 年度(見級 9, 6	A) 000 600 人 人 時間 600 24) 630	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260		22	23(見込み)	
人   活①②③	件 職員数 超事 財源内訳 動約 単1	<b>費 【22</b> 正再嘱臨過費 国府市そー 長期 位 位 位 は 位 の の の の の の の の の の の の の	】 見職用職職( を を を を を を を を を を を を を を を を を と の は の は の は の は の は の は り し の は り し り し り し り し り し り し り し り し り し り	考) + (手数 スト	対料・使 <b>効実績</b> (【A】	【A】 E用料等) (B】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12, 12, 21年度 9,	203 750 人 人 人 時間 953 524	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29 22年度 9,49	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9, 6 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00 0. 00 12, 6 年度(見 9, 6	b) 000 600 人 人 500 600 600 630 630 円 円	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260  30 25 20 15 10 5	21	22 成果指标	23(見込み)	
人   活①②③	件 職員数 超事 財源内訳 動約 単1	<b>費 正再嘱臨過費 国府市そー 長期</b> 位人 上 で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	】 現田職職(して) の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	考) + (手数 大スト 指標	対料・使 <b>効実績</b> (【A】 (【A】	【A】 E用料等) (B】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12, 12, 21年月 9, 1,360 109	203 750 人人人 時間 953 953 524 ) 円	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29 12,29 22年度 9,49 1,295 104	2	9, ( 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00 12, 6 年度(見述 9, 6 1, 308 107	500 500 人人 大人 時間 500 530 円円	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260  30 25 20 15 10 5	21 平成223	22 成果指标	23(見込み) マルス 23(見込み) 平成23年度	
人 総 活 (1)② (3)活 市 成	件 職員数 超事 財源内訳 動約 単1	<b>費 正再嘱臨過費 国府市そー 長期</b> 位人 上 で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	】 現氏 田職職( できまる) と 大き の と は できまる の と は から いっぱ から いっぱ から いっぱ かん いっぱ	考)+(手数)ストト前納	対料・使 <b>効実績</b> (【A】 (【A】	【A】 (A】 (B】 / (B】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12, 12, 21年月 9, 1,360 109 109	203 750 人人人 時間 953 953 524 9 円 9 円	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29 12,29 22年度 9,49 1,295 104 0考え方 内期前納付件により頻度利	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9, ( 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00 12, 6 12, 6 年度(見 9, 6	1) 000 600 人人人 時間 600 230 円円 年度	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260	21 平成22 <sup>2</sup> 25. 00	22 成果指标	23(見込み)	
人 総 活 (1)② (3)活 市 成	件 職員数 超事 財源内訳 動約 単1	<b>【2</b> 2 月 年 日 年 日 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	】 現田職職(して) の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	考) + (手数 スス 前納 (納)	対料・使 <b>効実績</b> (【A】 (【A】	【A】 E用料等) (B】 /人口)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12, 12, 21年月 9, 1,360 109 109	203 750 人人人 時間 953 953 953 953 953 524	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29 12,29 22年度 9,49 1,295 104 0考え方 中より順算でした。 があること	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9, ( 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00 12, 6 12, 6 年度(見 9, 6	500 500 人人 大人 時間 500 530 円円	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260	21 平成223	22 成果指标	23(見込み) 第1 23(見込み) 平成23年度	
<u> </u>	件 職員数 超事 財源内訳 動約 単1	<b>【2</b> 2 月 年 日 年 日 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	】 現氏 田職職( できまる) と 大き の と は できまる の と は から いっぱ から いっぱ から いっぱ かん いっぱ	考) + (手数 スス 前納 (納)	対料・使 <b>加実績</b> (【A】  (【A】  (【A】  対率  期前納例	【A】 E用料等) (B】 /人口)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12, 12, 21年月 9, 1,360 109 109	203 750 人人人 時間 953 953 953 953 953 524	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29 12,29 22年度 9,49 1,295 104 0考え方 中より順算でした。 があること	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9, ( 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00 12, 6 12, 6 年度(見 9, 6	1) 000 600 人人人 時間 600 230 円円 年度	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260	21 平成22 <sup>2</sup> 25. 00	22 成果指标	23(見込み) 第1 23(見込み) 平成23年度	
人 総 活 (1)② (3)活 市 成	件     職員数     超事     財源内訳     財納     単1     (事業目的の達成度	<b>【2</b> 2 月 年 日 年 日 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	】 現氏 田職職( できまる) と 大き の と は できまる の と は から いっぱ から いっぱ から いっぱ かん いっぱ	考) + (手数 スス 前納 (納)	対料・使 <b>加実績</b> (【A】  (【A】  (【A】  対率  期前納例	【A】 E用料等) (B】 /人口)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	(実績 9, 3, 0.50 0.00 0.00 0.00 12, 12, 21年月 9, 1,360 109 109	203 750 人人人 時間 953 953 953 953 953 524	(実績) 8,69 3,60 0.50 0.00 0.00 0.00 12,29 12,29 22年度 9,49 1,295 104 0考え方 中より順算でした。 があること	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9, ( 3, 6 0. 50 0. 00 0. 00 12, 6 12, 6 年度(見 9, 6	1) 000 600 人人人 時間 600 230 円円 年度	1,360 1,340 1,320 1,300 1,280 1,260	21 平成22 <sup>2</sup> 25. 00	22 成果指标 22 達成率(%) 97.2%	23(見込み) 第1 23(見込み) 平成23年度	

	帀			与が必要	とな理由					評価								
の関与の必要性			1 2 3 4 5 6									9	必要性 分析・評価の説明					
		法令上	受益者	最低限	市民の	社会的	民間だ	民間だ		iの特			高い利用率があり保険					
		の義務	が不特 定多数	の生活 水準を	不安を 解消	経済的 弱者を	けでは 負担しき	けでは 供給不		色等を 5内か		<b>—</b>	料納付促進に多いに寄					
			~ ~ ~	確保	737713	対象	れない	足		· 発信		有	与している。					
											$\bigcirc$							
	注									_								
	視点	点	分析のためのチェック点						はいし	いれえ	該当なし		分析•	評価の説明				
			市民ニーズが高い											マ納率の確保、 国保財政				
		-	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない								П	運営の観点からは大きな効果を得られてい						
		-	社会情勢の変化に対応している								$\overline{\Box}$	□るが、市税では公平性の観点などから既に □ □廃止されており、他市国保でも見直しの動 □						
	<b>亚</b> 当	性	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない							<u> </u>		きがある。						
	Д —																	
		-	国・府の事業と重複していない								븸							
		-	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい								ᆸ							
			緊急性が認められる								<u>√</u>	利田され	スァレルト	い、保険料収納額、収				
		サービー 対象への客与は大																
		-	受益者負担の割合は適当である							붜		,		-				
分		-	人員を削減する余地がない							<u>  </u>	믬							
分 析	効率	<u>-1</u> ±	- 事業費を削減する余地がない 簡略化できる方法や手段がない							믬	$\exists$							
• ≘亚		-	市の他事			<u> </u>		$\exists$										
評価		-		FIなど)の	活用につい		屵	$\exists$										
			検討の余			- 7 17 1			✓	Ш	Ш							
		_	上位の施設	策(目的)が	明確である	•			<b>✓</b>				ることによ 寄与は大き	り、保険料収納額、収				
	有効	1性	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である									が月 <del>年</del> 、<0フー	可サは八つ	. V ' <sub>0</sub>				
	13773		成果を向上させる余地がない															
			市民の視り	いる			Щ	Щ										
		-	事業の企同	<u></u>		44		<u> </u>										
	協働性			服の共有が		_	<del>-  -  </del>	<u> </u>										
			事業の実施について積極的に市民の意見を反映している 事業の実施に市民の参加、協力が得られている								$\overline{\vee}$							
	達成度		事業の実施に中氏の参加、協力が待られている 成果指標の目標値は適正である									前年度上	りょわずぇ	なったして ほぼ日梅				
			成来指標の目標値は適正である 成果指標の実績値は目標値以上である									]  前年度よりもわずかに向上して、ほぼ目標   を達成しており、収納率向上に寄与してい						
			成果指標は前年度より向上している								=	る。						
				よ削 牛皮み	の向工して	, 'る			✓		Ш							
	Ĭ	総合	評価															
			拡大·	充実	現状維	持 🗸	方法改善		営化・国	間	委託	□ 縮小	」	饔止·休止 □ 完了				
		評価	の理由															
± ±		и і іші	<u> </u>															
幸	iß i			れまで、	保険料の	つ納付促	進に寄り	チしていた	きが、-	一方	で、	その効果	・必要性	・公平性の観点からの課				
	<b>局 □</b> 題がある。 <b>評 □</b>																	
		今後	とに向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)															
	ļ																	
			険料の納付促進、収納額、収納率の維持向上への寄与は大きいが、交付することによる効果・必要性・公平 の観点から制度のあり方について検討を行う。															
		I⊥. ∨ ∠																
彳	J	総合	S合評価: 評価理由·意見:															
Tul.	Ē		- ماد - ياي باول			 <b>+</b> . ■	ار در											
<i>1</i> ±	春 本		- 拡大・充実・・・・・□□・現状維持:・□□・方法改善・・・・															
100	Ŧ::		 															
ſ	Б.		— — — — — — — — — — — — — — — — — — —															